

第23回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成23年2月

応募者名：東京都 北多摩北部建設事務所

埼玉県 朝霞県土整備事務所

事業の名称：東村山都市計画道路3・4・7号

府中清瀬線 街路整備事業(清瀬立体)

実施都市名：東京都 清瀬市

埼玉県 新座市

事業目的

府中清瀬線は、東京都で重点的に整備を進めている多摩南北主要5路線のうちのひとつで、東京都府中市を起点とし、小金井市、小平市、東久留米市、清瀬市を經由し埼玉県新座市に至る延長約18kmの都市計画道路です。

本事業箇所は、東京都と埼玉県の都県境にあたり、既存道路として、清瀬市側の小金井街道と新座市側の水道道路があるものの幅員が狭く、歩道も狭小であるため安全性に欠けています。また、既存道路では、鉄道が交差していることから、踏切において慢性的な交通渋滞が発生しています。

本路線を整備することで、多摩地域の幹線道路ネットワークの形成や埼玉県方面への人や物の流れが円滑になるなど、都市間相互の連携強化が図られるとともに、鉄道交差部をアンダーパスで立体交差化することにより、踏切での交通渋滞の緩和、安全な歩行者・自転車空間を確保することができます。

事業概要

事業箇所: 東京都清瀬市松山一丁目～上清戸一丁目

事業延長: 1,410m(うち300mは平成15年度に交通開放済み)

幅員: 18～29.5m(車道2車線、歩道両側3.5m(標準))

事業費: 約189億円(東京都 約127億円 埼玉県 約62億円)

事業実施期間: 平成3年度～平成21年度

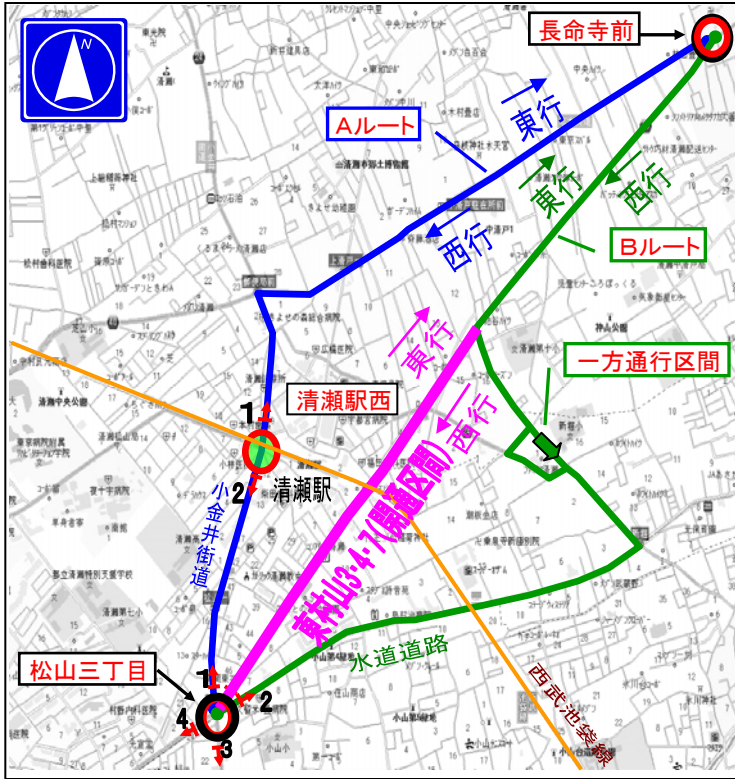
本事業は、事業区間の一部が埼玉県を介していることから、埼玉県と協定を結び事業費の負担を受け、清瀬市松山三丁目交差点から西武池袋線交差部の清瀬立体を経て、上清戸一丁目に至る延長約1.4kmを2車線で整備しました。

鉄道交差部については、ボックスカルバートによるアンダーパス構造を採用し、平面部の歩道は、歩行者が安全で快適に歩行できるよう、バリアフリー化や電線類の地中化を実施しました。

また、本事業箇所は西武池袋線清瀬駅の直近で、かつ、住宅街を通る新設道路のため、工事の施工にあたっては、施工会社と東京都による工事調整会議を密に行い、工程管理や安全対策等を徹底し、駅利用者や沿道住民への安全性に十分配慮しながら工事を進めました。

工事完成時の式典・交通開放についても、埼玉県と東京都の合同で開催し、都県行政が一体となり事業を実施することができました。

府中清瀬線(清瀬立体)の整備効果アピール資料



旅行時間の変化

★Aルート(西行)
長命寺前交差点 ~ 松山三丁目交差点
約18分 → 約5割短縮! → 約9分

旅行速度の変化

★Aルート(西行)
長命寺前交差点 ~ 松山三丁目交差点
約10.0km/h → 約2倍にUP! → 約19.0km/h

交通の転換

松山三丁目交差点
断面交通量(12時間)

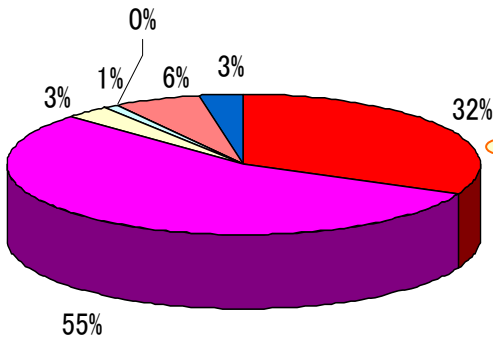
小金井街道	約8,800台	約2割減少!	約7,000台
水道道路	約10,700台	約3割減少!	約7,400台
府中清瀬線	自動車交通の転換!		約7,200台

アンケート調査結果

(平成22年1月実施)

交通量等調査時期
事前:平成21年3月
事後:平成22年1月

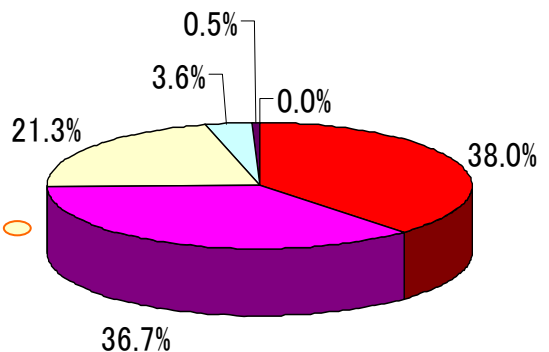
踏切待ち時間



踏切待ち時間の
改善を感じる
...87%

歩道の整備効果を
実感する
...96%

歩道整備の効果



歩行しやすい
安全である
景観が良くなった
あまり変わらない
その他
わからない

事業前写真



[小金井街道から西武池袋線方面(平成20年3月撮影)]



[小金井街道から松山三丁目交差点方面(平成20年3月撮影)]



[水道道路から松山三丁目交差点方面(平成20年3月撮影)]



[西武池袋線から松山三丁目交差点方面(平成14年撮影)]



[松山三丁目交差点から清瀬立体方面(平成14年撮影)]

事業後写真



〔清瀬立体(平成23年2月撮影)〕



〔清瀬立体(平成23年2月撮影)〕



〔清瀬立体(平成23年2月撮影)〕



〔小金井街道から西武池袋線方面(平成23年2月撮影)〕



〔松山三丁目交差点から清瀬立体方面(平成23年2月撮影)〕